

人口5万人目前 阿見市への準備

「未来に責任を担う魅力あるまちづくり」をキャッチフレーズにしています。1期では24の政策を掲げ、かなりの難しいものもありましたが、おかげさまで全て実現できました。これは職員のおかげがなければできなかったことです。阿見町の職員は能力があるということが分かりましたので、今回は60の公約を掲げさせていただきました。現場の確認を行い、優先順位を付けて、町民に寄り添った施策かどうかを念頭に、効果的かつ効果的に進めていきます。

また、市制施行の要件である人口5万人が見えてきました。4年前の就任当初は4万7300人でしたが、昨年の12月1日時点で4万9000人を突破しました。18歳までの医療費無料化、病児保育施設の整備、ランドセル無料配布など、子育て支援政策に注力した結果と考えています。これからは職員のレベルアップ、町民の自治意識改革など、市制施行に向けた準備を本格化していかなければなりません。そして2025年の国勢調査までに5万人を達成し、「阿見市」を誕生させたいです。

2期目の抱負

2月の任期満了に伴う町長選挙で、2006年以来16年ぶりの無投票で再選を果たした千葉氏。1期目で掲げた24の政策は全て実現。2期目は「阿見市誕生」に向けて、倍以上となる60の政策を打ち出した。市制施行の要件となる人口5万人を目前に、市にふさわしい体制づくりに全力投球をする覚悟だ。市制に向けて町民とともに進む千葉町長は、2期目の展望や主要建設事業などについて聞いた。

子育て支援総合センターを建設

道路関係では都市計画道路路寺子・飯倉線の整備を推進中です。土浦の荒川沖駅と東部工業団地を繋ぐ全延長約8.4kmの内、今回の整備は約1.6kmですが、24年度の全線開通を見越して、周辺にはホームセンター等の商業施設の進出も予定されています。間違いなく町のメインストリートになるでしょう。

また、圏央道の牛久阿見インターチェンジの北側はこれから延伸していく阿見小池線(土浦電ヶ崎線バイパス)と、ひたち野上から阿見町に繋がる中根飯倉線(土浦稲敷線バイパス)と

主要建設事業について



さわやかセンターでは設備を改修



【プロフィール】〈ちば しげる〉1963年2月1日生まれ。59歳。青山学院大学卒業後、昭和運送(株)に入社。2000年4月から09年12月まで阿見町議会議員を3期務めた。18年2月の町長選挙で初当選。趣味の写真は、父の形見のレンズを最近のデジタルカメラに付けて使っている。「一発勝負なところが写真の醍醐味」。スポーツ観戦は野球やゴルフがメイン。信条は「誠実」。「政治家の基本であり、一番大事なこと。誠実に物事を決断していくことが公平、公正につながっていく」



リニューアルを進めるふれあいの森

これまでの社会インフラ整備に感謝するとともに、災害協定に基づき応援が地区ごとに機能していることをとても誇りに感じています。

そのような中、皆さんに求めることが3つあります。まずはICTなどあらゆる技術が高度化していますので、最新技術を身に付けてレベルアップを図ってほしいです。2つ目が社会貢献。現在も清掃活動など多大なる協力をいただいておりますが、町民にもっとPRできるような独自の活動をしていただければと思っています。元稀勢の里が親方を務める二所ノ関部屋との連携にも参画していただきたいです。そして3つ目がカーボニュートラル(二酸化炭素排出実質ゼロ)。阿見町は温室効果ガスの排出量が県内44自治体のうち13位とのことなので、少しでも順位を下げるためにも、皆さんの協力が不可欠です。

建設業者の表彰制度については、受賞者にとって励みになるように、近隣自治体でも創設しているようですから、前向きに考えたいと思います。

の交差点を中心とした約65haについて、土地利用のための基本調査に着手しました。本年度は土地利用方針について検討していきます。

新規で建設を考えているのは、子育て支援総合センター。お母さんたちが気軽に集い、安心して子育ての悩みについて相談できる施設として整備するものです。本年度に調査・計画し、23年度に設計、24年度に工事に入ればと考えています。

学校関係では、中学校1校にエレベーターを設置します。3校のうち2校は、これから検討します。ほかには、小学校全7校の照明LED化を進めていきます。

さらに、廃校の活用というところで、国の地方創生拠点整備交付金を活用し、旧実穀小をコミュニティセンターへ改修します。工事費として3億8439万5000円の予算が付きました。速やかに発注します。

総合保健福祉会館「さわやかセンター」は、災害時の福祉避難所に指定されていますが、全面的にかなり老朽化しているため、改修工事を行います。本年度は自家発電設備と空調を更新します。

「ふれあいの森」にはパークビュー施設などありますが、老朽化が進んでいるため、まずは芝生広場のトイレの再整備を検討しています。最近人気のグランピングやひとりキャンプに対応できるようにリニューアルしていきます。またドッグランの整備も考えています。

町営住宅の跡地には街区公園(約7500㎡)の整備を計画しています。複合遊具や東屋、芝生広場等を設置する予定で、本年度に詳細設計に入り、23年度に工事を行い、24年度からの供用を目指していきます。

地元建設業者へのメッセージ

未来に責任をもてる魅力あるまちづくりに貢献します

阿見町建設業組合 葵会

会長 松浦建設(株) 松浦 一久 副会長 (株)柏崎工務店 柏崎 久雄 顧問 (株)杉原建設 杉原 美文

松浦建設(株)
(株)柏崎工務店
(株)杉原建設
(有)飯塚工務店
(有)三生工業

(有)ノグチ工業
(株)我見工業
(株)大山電機工業
(株)関東住総サトウ工業(株)

中村興業(有)
(株)マキナ
(株)美都住建
(有)ミーサン
(株)青山建築設計事務所

(有)丸隆建設
(有)久保組
(株)一心
大鵬電設(株)
(株)白田設計